

外房

小型漁船漁業【はえ縄漁業等】(雇用型・独立型)

漁業の概要

外房では、様々な小型漁船漁業が営まれており、鴨川市～勝浦市の漁業者の操業形態の1つとして、はえ縄を主としてマグロ・カジキ類を漁獲し、季節により海士でアワビ、刺網でイセエビを獲っています。

はえ縄の漁場は岸から70～140km沖(伊豆諸島近海や房総半島沖)にあります。はえ縄は長さが20～30kmにもなるので、船団で操業し、漁具が絡まないように全船が整列した上で、投縄を行っています。また、活餌(サバ)を用いることから、投縄前に立縄で餌を釣ります。操業時の労働は厳しいものがありますが、はえ縄漁業者は高級魚であるクロマグロやメバチを釣上げることに格別な思いがあります。また、地元のはえ縄船が漁獲するマカジキの美味しさや品質を知ってもらうため、ブランド化に向けた品質保持等の取組も行っています。



はえ縄漁業の操業

漁業収入モデル(独立時)

水揚げ収入	4,000万円
経費	2,500万円
漁業所得	1,500万円

はえ縄漁業(3人乗り)の場合

※上記は漁業者からの聞き取りを基にした一例であり、年、資源状況、習熟度等によって大きく変動します。

各漁業の年間操業計画

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はえ縄	→										←	
刺網								←	→			
海士						←	→					
立縄					←	→						

1日の操業スケジュール例

▼はえ縄漁業(11月～翌5月)

3:00～5:00	出港・餌場へ移動
5:00～6:30	餌(サバ)を釣る
6:30～9:00	漁場へ移動
9:00～10:00	はえ縄の絡み防止のため、操業船整列
10:00～12:00	投縄作業
12:00～13:00	揚縄準備・休憩
13:00～17:00	揚縄作業
～21:30	帰港・水揚げ作業・操業準備、解散

就業と漁労作業

独立就業に向けては、はえ縄の漁業技術を身に付け、必要な機器等を装備した漁船を入手するとともに、乗組員1名以上を確保する必要があります。

そのためにまずは乗組員として、はえ縄漁船に乗船し、漁業技術を習得することが重要です。

はえ縄漁業の漁労作業としては、左記スケジュールの各作業を船長と共に行います。